



## 平成28年度合同入学式 学長メッセージ



## こころの中に高い窓を持とう。

人間は心の中に“窓”を持っていると言われていました。表現を替えれば、感性・知性・理性を総括した窓となります。高い窓を有している人と懇談すると、身体の中を薫風が吹き抜ける感じがします。その人物に接した多くの人々が慕う無形のもの、それはある時は人徳と、ある時は人望と呼ばれます。人徳または人望を備えている人はリーダーシップを発揮して指導者となるケースがしばしば見受けられます。指導者の資質は、人望と創造性及び先見性であります。人生の黄金期とも言える大学時代に、良き友を得、良き師から学び、高い窓をもった将来の指導者となる資質を磨いて戴きたいと願っています。

また、今日ほど、自分の頭で考える哲学が必要とされる時代はありません。自分の頭で考える哲学とは、個の倫理の確立といえます。自分の言葉と行動には責任を持つことが求められます。日頃の知的な行動の積み重ねの上に、他人から尊敬される美しい人格が成立します。先生方や部活動を通じた友人との交流を礎に、品性の陶冶を図って戴くように希望致します。

平成28年4月2日 下村輝夫 学長



## 大学改革の中心的役割を担う新棟がいよいよ今年8月に竣工

新棟の建設がスタートしました。新棟は、FD(教授・教育方法開発)機能、研究高度化・実用化、学生サポート機能等を備え、大学改革の中心的役割を担います。学内外の研究者・学生/教職員が集う学術センターとなり、利便性を重視し、低層階構造としました。



①アーチ状のスタイリッシュなデザイン



①新たな憩いの場となるウッドデッキ

## 全学的ラーニングコモンズをめざし、学生ホールもリニューアル



## トピックス

福岡工業大学吹奏楽団 サクソフォン四重奏  
全日本アンサンブルコンテストで銀賞受賞

第39回全日本アンサンブルコンテストが高松市の「アルファあなびきホール」で開かれ、大学の部で、福岡工業大学吹奏楽団のサクソフォン四重奏が見事銀賞を受賞しました。



①左から福丸里奈さん、梅田滯奈さん、園田優香さん、佐々木彩さん

## 国立研究開発法人科学技術振興理事賞を受賞。

文部科学省主催の学生による自主研究の祭典「第5回サイエンス・インカレ」が開催され、「国立研究開発法人科学技術振興機構理事長賞」を福岡工業大学2年 中野 萌士(なかのきざし)さん(右)と1年 津田 英知(つだひでとも)さん(左)が受賞。発表したテーマは「拡張現実感を用いた味覚操作システムの開発 ~ただ、ラーメンが食べたかった~」。

サイエンス・インカレ審査員の特別推薦により「サイエンス・インカレ審査員奨励賞」も併せて受賞しました。

本学ラグビー部の期待の新人。  
トンガ王国出身のセフィーさん

トンガ出身のファカタヴァ ソセフォ(呼称:セフィー)さんが社会環境学部へ入学しました。彼はトンガ王国から東京の目黒学院中学に入学、その後、目黒学院高校に進み、2015年度ラグビー18歳以下高校日本代表候補に選ばれた逸材です。

九州学生リーグ5連覇中の本学にとって、全国大会出場の切り札として期待されています。



## 3F FDセンター(仮称)

教授・教育方法開発の  
トライアルスペース

①アクティブラーニング対応型教室

## 2F 学生サービスセンター(仮称)

教職員とのコミュニケーションを  
活発にする学生ラウンジ

①ワンストップサービス対応型の学生カウンター

## 1F オープンラボラトリー(仮称)

学内外共同研究プロジェクトを  
推進するマルチブース

①異分野間の研究交流を促進する研究ブース

## クリエイティブ・ラボもオープン!

特別な高性能PCに大型のディスプレイやペンタブレットが併設され、AdobeソフトウェアやAutoCADのほか、OfficeやVisual Studioを完備し、学生皆さんの知識やアイデアをアウトプットするクリエイティブな創作活動をサポートします。

福岡工業大学  
10年連続  
志願者増を達成

本学の平成28年度入試の志願者数が6,939名となり、10年連続で増加となりました。入学者数も私立大学の4割強が定員割れを起こす中、安定的に確保しています。

本学は“For all the students”を経営理念に、丁寧な教育と学生支援に注力してきました。志願者増はこのような取り組みの継続が評価された結果だと思われます。

今後も、情報・環境・モノづくりの分野において教育力を発揮し、社会に広く貢献できる人材の育成をめざし、改革・改善に取り組んでいきます。

Learning Commons  
**新図書館 FITLink** はさまざまな学びに  
 Library+NetWork **は対応する空間です。**

平成27年度にリニューアルした図書館は、学生の皆さんのため各種コーナーを充実させています。



今回はプレゼンテーションコート  
 (3階Active Floor) を紹介します。

プレゼンテーションコートは、イベントまで視野に入れたアクティブラーニングの場です。学内イベント、ゼミ発表、自主イベント(サークル活動なども可)などに活用できます。通常は学習スペースとして自由に、個人・グループ学習ができます。



利用のご相談は、3階サポートデスクでお受けしています。

**これからの学びを研究するAL研究会**

3月10日(木)、第1回AL(アクティブ・ラーニング)研究会(仮称)が開催されました。会場となったA14教室(旧A1LL教室)には、本学教員30名はじめ計51名の教職員が集まりました。

本会は、実際に授業を実施する教員間におけるALをはじめとした授業実践の取り組みを持ち寄り、授業実施上の課題に関する協議の場および各自の授業に反映するための情報交換の場となることを目的としています。本学「AL型授業推進プログラム」導入促進の主体である教育技術開発ワーキンググループとの密な連携を図り活動を行うこととなります。

初回となる今回は、H27年度後期科目での実践事例の中から、教育技術開発WGでもある2名の先生から、それぞれ「電子回路I」(松尾教授/電気工学科)、「情報解析学I」(徳安教授/情報システム工学科)を題材として、反転学習や事前課題の工夫(学習ノートや授業アーカイブ)および効果の一例について紹介されました。H28年度も引き続き研究会を開催する予定です。



**平成27年度短期大学部春季FD研修会**

3月4日(金)に短期大学部と中村学園短期大学部との合同FD研修会が本学で実施され、中村学園短期大学部の教職員26名と本学の教職員18名が集まりました。

今回の研修は中村学園短期大学部との交流協定の内容の一つである「FDの研修などの共同実施」の第2回目、「アクティブに学ぶということ」をテーマに行われました。

最初に本学上村英男准教授より短大での反転授業の取り組みについて、導入時の問題点や課題について事例をもとに発表があり、続いて中村学園短期大学部 藤島淑恵講師よりマナー教育の取り組み、手嶋康則准教授よりキャリア開発学科のインターンシップ・プログラムの特徴について発表が行われました。

研修終了後にも、中村学園短期大学部と本学の教職員で互いの



①上村英男准教授(福岡工業大学短期大学部)の発表風景

短期大学部の現状と課題や今後のFD研修についてどのように実施していくのかなど前向きな話をすることができました。

今後も学生のことを一番に考え、教育改善のために様々な取り組みを行っていきます。

**H27年度「クラス・サポーター(CS)合宿」を実施**

3月17日(木)・18日(金)の2日間、グローバルアリーナ(宗像市)にてCS合宿が行われ、平成28年度の授業でCSとして活躍を期待されるCS候補学生のうち38名が参加しました。

本学では「AL(アクティブ・ラーニング)型授業推進プログラム」(H26年度文部科学省大学教育再生加速プログラム採択事業)の取組の中で、講義の中でグループディスカッションのファシリテーターやピアラーニングを促す役割など、AL型授業運営を支援するクラス・サポーター(CS)の育成と導入を進めています。来年度の授業でCSとしての活動を予定する候補者に対する事前研修として、このCS合宿ではファシリテーションやCSの活動内容についての理解と心構えを身につけることを目的としています。なお、この合宿は、宮本知加子先生、小田部貴子先生(FD推進機構就業力プロジェクト室特任教員)の指導・助言のもと、CS経験のある学生スタッフが中心となって、プログラムを計画・運営しました。

今回は、藤岡先生(システムマネジメント学科)から「CSとして授業前、授業中、授業後に何をすべきか?」と題した講義があり、先生からは学生が「熱中、夢中」できる授業を作りたいのでCSには、準備(知識をつける)、配慮(遠慮とは違う)、平等(全員に気を配る)を心掛けてほしいとお話がありました。「一人で考えるのではなく、まずは先生との情報共有を」との言葉を頂き、学生は自分自身に置き換えた具体的なイメージがつかめたようでした。

教務部長の松尾先生から「CSに期待すること」として「先生とCSとの信頼関係が大切であり、ぜひ学生の立場から改善点やアイデアなどをどんどん言ってほしい。一緒に授業を作り上げましょう。」と心強いメッセージをいただきました。

最後に参加学生皆で輪になり、一人ずつ「CSとして実践していきたいこと」を発表しました。「話しかけられやすいCSになる。」「困っている人がいたら気付いてあげられるようになる。」「みんなで楽しく学べるクラスの環境を作っていきたい。」など、一人一人が思いを伝え、2日間のCS合宿は充実感と希望の内に終了しました。

今後は、CSを活用したAL型授業の展開を進めていきます。



**大学院 博士(工学)の学位取得者が50名を突破!!**

平成27年度3月、工学研究科博士後期課程の3名に学位が授与されました。平成11年度の開設以来、課程博士46名、論文博士4名となり、合計50名の博士(工学)が誕生です。学位取得後は高度な専門性と高い倫理観を備えたリーダーとして、国内外の大学の教員、最先端企業の研究職など、様々な分野で活躍中です。



①平成27年度の学位取得者3名。左から 越智 裕草さん 学位No44 山本 伸也さん 学位No45 小田 哲也さん 学位No46

**博士後期課程 年度毎の学位取得者数**

年度	修了者数 <sup>1)</sup>	単位取得満期退学者数	学位授与数	
			課程博士	論文博士
H13	2	2	2	
H14	2	1	2	
H15	0	0	1	
H16	1	4	1	
H17	2	2	3	
H18	2	1	2	
H19	1	1	4	
H20	4	1	4	
H21	4	1	4	1
H22	3	1	4	
H23	2	1	3	2
H24	1	1	1	
H25	3	3	4	1
H26	5	2	8	
H27	3	1	3	
合計	35	22	46	4

<sup>1)</sup>修了者:課程年度内に必要単位を修得し、学位論文試験に合格した者  
<sup>2)</sup>課程博士数:各年度別の在籍年度内学位取得者+単位取得満期退学者3年以上の学位取得者

**新入生の徹底サポート 入学前オリエンテーション**

福岡工業大学では、新入生の皆様を対象に、毎年入学前オリエンテーションを実施しており、本年は3月30日(水)【工学部】・31日(木)【情報工学部】・4月1日(金)【社会環境学部】の3日間にわたって実施しました。このオリエンテーションは、学科同級生等との交流や、学習の場となる大学キャンパス内の施設見学を通じて、入学後の学生生活への不安を取り除き、新たな環境で安心して新生活を迎えていただくために行っています。

オリエンテーションのプログラムの多くは、先輩サポーターが数月前から企画・準備を進めてきたもので、当日の司会や運営も、先輩サポーターが中心となって行われました。学生生活や大学での学びについてのプレゼンテーションが行われたほか、入学後のキャンパスライフをイメージしやすいように考案されたコミュニケーションゲームなども行われました。

新入生はリラックスした雰囲気の中で各プログラムに参加し、新たな生活への一歩を踏み出す一日となりました。

また参加した新入生からは、「先輩が優しく接してくれて緊張が和らぎ、同級生とも楽しく過ごせました。」「大学生活がイメージできて、これからの生活が楽しみにになりました」との声が聞かれました。

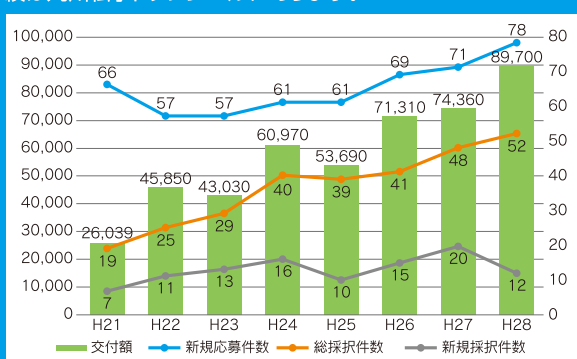


**平成28年度科研費採択実績**

～採択件数・金額が過去最高を更新しました～

平成28年度の科学研究費助成事業の採択実績は、総採択件数が52件、採択金額が8,970万円となり(平成28年4月8日現在)、過去最高を更新しました。

文部科学省・日本学術振興会による科学研究費助成事業は、日本の科学技術政策の中核であり、その採択実績は、全国の大学の研究力を測る重要な指標となっていますが、本学の実績は九州私学トップレベルにあります。



**エクステンションセンター**

資格取得支援講座  
 今年度は昨年度より講座種類や人気資格の開講回数を増やし学生が資格取得にチャレンジしやすくなりました。

- 【新規の講座】**
- 色彩検定3級、2級
  - 公務員入門コース
  - プライダプランナー2級
  - 情報セキュリティマネジメント試験(対象学部:情報工学部)

- 【無料講座】**
- MOS(Microsoft Office Specialist)
  - リテールマーケティング(販売士)2級
  - eco検定
  - 日商簿記3級
  - SPI就職試験対策
  - TOEICハーフテスト
  - その他各学部・学科による講座(CCNA、LPIC、通信系の講座など)

就職率=就職内定者数/就職希望者数  
**98%を上回る高い就職率を達成!**

大学	短大	大学院
<b>98.9%</b>	<b>98.5%</b>	<b>100%</b>

## 就職課 就職活動体験記 ～就職活動を振り返って～

### 事前準備と積極性を大切に

**池田 敦さん**

工学部知能機械工学科卒業(東福岡高校出身)  
安川エンジニアリング 株式会社 入社

就職活動は色々な方々と接する機会が多く、コミュニケーション力をはじめ自分を成長させることができた貴重な期間でした。周りの友人が私よりも先に内定を貰っていき、焦りや不安がありました。自分が働きたいと思う企業に内定を貰えるかが大事という言葉をかけてもらい、1社1社の選考を大切に受けました。事前準備や対策を手を抜かずに行い、また説明会時に必ず1つ質問する等の積極的な行動が内定獲得の大きな要因だったと思います。

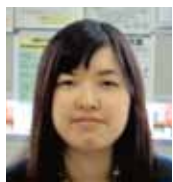


### 苦手意識の克服が内定獲得のカギ

**池田 あやめさん**

情報工学部システムマネジメント学科卒業(福岡西陵高校出身)  
株式会社 福岡銀行 入社

3月からの学内外の合同企業説明会や単独企業説明会に数多く参加していたので、スケジュール帳の予定はびっしりでした。自分が興味のある業界以外の説明もたくさん聞くようにしていたので、新しい発見があり、私自身がやりたいことを明確にすることができました。私は人見知り面接がとて不安だったので、12月から月に1回のペースで必ず模擬面接を受け、少しずつ苦手意識を払拭していったことで本命の企業の選考では、自信を持って臨むことができました。



### 私の就活モットー「準備・練習・行動」

**村上 貴規さん**

社会環境学部社会環境学科卒業(熊本西高校出身)  
株式会社 九電工 入社

私はラグビー部に所属していて、練習や試合で心身とも大変でしたが、寮では筆記試験対策や企業情報の収集をしっかり行い、大学では就職課の模擬面接を15回以上受ける等、無い時間をいかに作り、有効活用するかを考えて一生懸命活動しました。就職活動は、説明会に参加する企業の情報を事前に調べ、面接に向けて何度も練習し、自分の足で動いて実際に聞き取った情報を集めるという「準備・練習・行動」の姿勢が大事だと実感しました。



### 自分の可能性を広く持って

**田北 和幸さん**

大学院 知能機械工学専攻卒業(宗像高校出身)  
ミステクノクス 株式会社 入社

私は大学・大学院で学んできた専門性を活かせる企業で働きたいという気持ちで就職活動に取り組んでいましたが、自分の専門性に固執しすぎていて視野が狭くなっていたことがありました。その時に「自分の可能性を自分で狭めないように」という言葉を企業の人事の方からかけていただき、この言葉で自分の経験や個性を次の進路にどう活かすかを考えて行動できるようになりました。就職活動はやる事が多く大変ですが、計画性を持って優先順位をつけて行動することも大事だと実感しました。



### 自分の努力で180度将来は変わる

**坂本 瞳さん**

短大ビジネス情報学科卒業(香椎高校出身)  
九州三菱自動車販売 株式会社 入社

就職活動は先を見据えて先手必勝の姿勢で行動することが大事だと思います。私は就職活動にしっかり取り組めるように、資格や単位の取得を前広に計画的に行い、また就職活動中は説明会や選考で必ず30分前に着くようにする等、何事も早め早めに取り組んできました。先のこと考えて行動してきたことが私の内定獲得の一番の要因です。就職活動は、私が実践した早めに行動するといった自分にできることをいかに努力できるかが大切で、その努力で将来が大きく変わると思います。



## 2016年3月卒業生の就職状況

### 主な内定先

(株)九電工	JFEスチール(株) 西日本製鉄所
安川情報システム(株)	(株)神戸製鋼所 高砂製作所
(株)NEC情報システムズ	東京地下鉄(株)
(株)ゼンリン	ロイヤルホールディングス(株)
本田技研工業(株)	(株)福岡銀行
ソニーセミコンダクタ(株)	西日本シティ銀行(株)
(株)富士通	九州旅客鉄道(株)
(株)伊藤園	福岡トヨタ(株)

## アメリカ長期留学 FINE体験記 1年間の留学を終えて



知能機械工学科 4年  
(光陵高校出身)

**松永 英朗さん**

私の最初の海外留学は2014年、夏の短期留学ACEプログラムへの参加でした。この経験がきっかけで長期留学への意欲が湧きました。実際に渡米し、私は自分の英語力の低さにショックを受けました。世界中から来た学生達が堂々と英語で会話しているのを目の当たりにしたからです。彼らは英語を話す中で小さなミスに気にせず堂々と話すのに対し、私はミスをしないよう慎重に話していました。そこで私は彼らに見習い、小さな文法ミスなどを気にせず堂々と話すことを心がけました。ネイティブ環境にいるメリットを活かして、外出先でも積極的に会話をするように心がけました。

彼らの宗教が生活や考え方に与える影響も様々でした。特に食と生き方への考え方の違いは大きく、彼らから「私たちの宗教では～」と説明を受けることが度々でした。この経験は長期留学ならではの経験だと思います。また、将来の仕事への考え方も変わり、海外志向が強くなったのを実感します。私は日本を出てアメリカで働きたいと思うようになりました。多様性に富んだ環境は常に私を刺激し、考え方の幅を広げてくれます。言葉や食文化の異なる環境が、自分を成長させてくれるのではと考えています。

アメリカでは今まで私が話さなかったタイプの人達とも親しくなり、友好の輪が広がりました。彼らから私の思い浮かばないようなアイデアを聞くなど、私の生活を刺激してくれる出会いが多くなりました。この変化はこれから社会人となる私にとって大変貴重だと思います。自分のキャリアを高めるために、興味のある分野に積極的に飛び込んでいきたいです。

私は留学前、1年後の自分はどのように変わっているのか想像がつかせませんでした。しかし今、心身ともに成長したのを実感しています。アメリカでは全てが自己責任。苦労する事も多くありましたが、自分から動き、解決しようとする、自ずと道が開かれます。主体的に動くことで初めて周りも助けてくれます。長期海外留学はとても大きな財産になりました。興味があれば是非チャレンジしてほしいと思います。



## 教育と連動した地域連携・社会貢献 ～平成27年度の活動から～

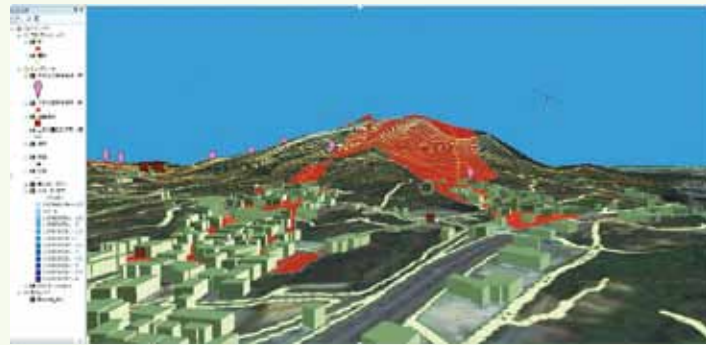
福岡工業大学は、教育活動による“学生のアクティビティ(学修成果)”を積極的に社会に還元しながら、様々な形で地域との連携を推進しています。

### 正課授業を通じた活動 ArcGISを用いた新宮町3Dハザードマップの製作

(社会環境学部森山研究室)

新宮町との連携協定に基づき、森山研究室では町の防災を目的とした3Dハザードマップの製作に取り組みました。

学生は「街歩きワークショップ」に参加し、地域の地理情報について確認しながら住民や行政担当者や危険箇所や避難路などの情報を共有。その後研究室で、調査結果を基に「防災3Dハザードマップ」を作成し、防災情報の周知徹底を町民に呼びかけました。学生達は地域の人達と交流することで地域が抱える課題についても理解することができました。森山研究室の取組みは行政からも高く評価され、「大学ネットワークふくおか」の平成27年度「学生地域活動大賞」を受賞しました。



①フィールドワークの結晶“3Dハザードマップ”

### ボランティアによる課外活動

新宮町おもてなし協会観光振興ポスターの制作

(情報工学部情報工学科 2人組クリエイティブユニット“UNIQUE”)



①好評を博したポスターはテレビの情報番組でも取り上げられました。

新宮町の「おもてなし協会」からの依頼を受けて、情報工学科の学生2人が町の魅力をより多くの人達に認知してもらうことを目的に観光PRポスターを「島、街、山」をテーマに作成しました。学生達はボランティア活動の成果として、大学キャンパスと隣接する新宮町の魅力を再認識したとともに、以前から興味・関心があった地域活性化の一翼を担うことができ大変光栄です、と語っていました。

### 大学連携による交流活動 千早・並木グローバルフェスティバルの開催

(福工大留学生会、学生サークルFIT-ICE)

“学生の街”“アジアの玄関口”といった福岡ならではの特性を活かして、本学の留学生会と異文化交流サークルFIT-ICEが他大学の学生や千早校区の住民、NPO団体に協力を呼びかけ開催したのが「千早・並木グローバルフェスティバル」。コンセプトは“多文化共生の街”。地域の活性化と市民参加のまちづくりを目的に、韓国・中国・ベトナム・タイ他16ヶ国100名を超える留学生の先頭に立って異なる文化的背景を持つ人々との相互交流イベントを成功に導きました。



①大学間連携でも福工大が大活躍!

今後も福岡工業大学では、“教育活動のフィールドとしての地域連携”を目指して、地域社会だけでなく学生の教育にも貢献できる活動を推進していきます。様々な形で展開していく福工大生の地域での活動に、これからもどうぞご期待ください。

# 短期大学部



## 平成27年度 卒業式&学長賞 授与式

3月20日(日)、福岡工業大学短期大学部の第55回卒業式が挙行政され、情報メディア学科109名、ビジネス情報学科53名、計162名に短期大学士(情報工学)の学位が授与されました。

また、同日学長賞の授与式も行われ、成績優秀賞3名をはじめとする8名(延べ19名)の学生が表彰を受けました。卒業生の皆さん、これからのご活躍をお祈りしています!



## 平成27年度 編入学試験合格者数

**編入決定率98.7%**  
※編入決定率=合格者数(実人数)/編入希望者数

(平成28年度入学者)		H28.03.31現在	
大学名	学部名	学科名	合格者数
宮崎大学	工学部	情報システム工学科	1
鹿児島大学	工学部	情報生体システム工学科	3
九州工業大学	情報工学部	システム創成情報工学科	1
香川大学	工学部	生命情報工学科	2
琉球大学	工学部	電子・情報工学科	1
高知大学	理学部	応用理学科	1
福岡工業大学	工学部	電子情報工学科	3
		電気工学科	2
		情報工学科	10
		情報通信工学科	6
		情報システム工学科	7
福岡工業大学	情報工学部	情報システム工学科	3
		システムマネジメント学科	3
福岡工業大学	社会環境学部	社会環境学科	27
西九州大学	子ども学部	子ども学科	1
東京経済大学	経営学部	流通マーケティング学科	1
神奈川工科大学	情報学部	情報メディア学科	1
東京工科大学	メディア学部	メディアコンテンツコース	1
九州産業大学	商学部第一部	商学科	2
九州産業大学	情報科学部	情報科学科	2
東洋学園大学	現代経営学部	現代経営学科	1
九州情報大学	経営情報学部	情報ネットワーク学科	1
九州情報大学	経営情報学部	経営情報学科	1
久留米大学	商学部	商学科	1
久留米工業大学	工学部	情報ネットワーク工学科	1
放送大学	教養学部	社会と産業コース	1
合計			82

## 高短接続教育 修了証授与式

城東高校と短大接続教育である短大講座の修了証書授与式が2月24日(水)に実施されました。今年度で8年目の高短接続教育は普通科Ⅱ類2年生と3年生、工業科3年生を対象に実施しています。

科目等履修生として短大講座を受講し、修了した生徒が短大に入学した場合は1科目につき2単位が認められます。今年度は普通科Ⅱ類3年生35名、工業科3年生24名が短大講座を修了して修了証書が授与されました。短大講座で学んだことを今後の進路に活かして欲しいです。



## 平成27年度 卒業記念パーティ

3月18日(金)福岡市にあるハイアットリージェンシー福岡に於いて、卒業生の新たな門出を祝い、卒業記念パーティが行われました。パーティは学友会の主催で毎年行われており、企画から運営まで全て在学生の手で行われています。

下村学長からのお祝いの言葉で始まったパーティは、お世話になった先生方と思い出で盛り上がりました。また、学友会が制作した先生方の卒業生に送るメッセージ映像が流れると、笑いあり、涙ありの心温まるメッセージに卒業生一同釘づけとなっていました。



## 平成28年度 新入生・保護者オリエンテーション

4月2日(土)の入学式後、新入生とその保護者を対象にオリエンテーションが行われました。

オリエンテーションでは石橋学科長進行のもと、短期大学部教員紹介が行われ、下村学長より新入生を歓迎する言葉があり、石塚教務部長、吉原学生部長、小田教育改善委員長より短大2年間での心構え、注意事項等の説明が行われました。



## 2016 BREAKTHROUGH PRIZE IN FUNDAMENTAL PHYSICS 情報メディア学科 石塚 文晴教授が 基礎物理学賞を受賞!!

今回受賞した賞は、基礎物理学での新発見などに対して毎年授与されている賞です。石塚教授は、昨年ノーベル物理学賞を受賞した東大の梶田教授と20年以上も共同研究をしており、梶田教授を始めとするスーパーカミオカンデ・グループの一員として、ニュートリノ振動の発見(ニュートリノに質量があることの発見)により受賞しました。  
この発見は「物理学の教科書を書き換えなければならない新発見」と称されています。

## スーパーカミオカンデで 繋がるノーベル賞受賞の 梶田隆章教授と 石塚文晴教授(写真左)

梶田教授と石塚教授の出会い、石塚教授が新潟大学の大学院生としてスーパーカミオカンデの前身のカミオカンデの研究を始めた時に、当時東大の助教授だった梶田教授にお会いしたのが初めて、以後いろいろとお世話になってきました。



## モノづくりセンター

### 「プロジェクトリーダー研修会」

湯布院FITセミナーハウスにおいてモノづくりセンターの学生20名が参加し、「私たちは、明日からプロジェクト活動をこのようにする」をメインテーマにプロジェクトリーダー研修が行われました。この研修は今回で4回目。

初日は、プロジェクト活動の本校における位置づけやリーダーの役割について話があり、この1年間を振り返って自分達の活動で良かったところ、足りなかったところを出し合いメンバーが4班に分かれて夜遅くまでディスカッションを行いました。

二日目は、前日の話し合いの内容をプロジェクトごとに落とし込み、プロジェクト活動の目標をまとめ、発表を行いました。質問も活発に行われ、自主的なプロジェクト活動の在り方を考えるよい機会にもなりました。最後に阿比留モノづくりセンター長より「実行することの大切さ、目標達成のための行程管理の重要性」など貴重なアドバイスをいただきました。



## 2つの格付会社が学校法人福岡工業大学の格付を更新しました。

R&I格付で、2011年から6年連続の「A」を維持  
JCR格付で、2014年から3年連続の「A+」を維持

R&I格付

**A**

JCR格付

**A+**

## OPEN CAMPUS

申込不要



7/30 SAT

8/7 SUN

9/11 SUN

11/3 THU 祝

新入試・新奨学制度・新棟など新しい福工大・福工大短大を紹介します。楽しくて、ためになるイベント盛りだくさんでお待ちしています。

お問い合わせ先 [広報課]

TEL 092-606-0607 (直通)

